

事務の記載とレセプトの返戻例をもとに「摘要」欄の記載事項などについて詳細な説明がした。

(安岡美樹夫記)

# 美唄

Bibai

**臨時総会**  
日時：平成23年 8月26日  
場所：寿楽

議長には大坪先生を選出した。議決に先立ち会長より議案案件採択に関する美唄歯科医師会定款関連部分と現状について説明があり、最終的に賛否の意見を求めたところ、孫理事より一般社団法人移行について賛成の意見あり、その後表決に移った。

公益法人制度改革の法人形態を選択する議案に対し、一般社団法人移行について賛成多数により移行選択を議決した。

(小森英世記)

**学術講演会**  
日時：平成23年 8月26日 午後7時より  
場所：寿楽  
演題：「病診連携の今日的課題～ピスホスホネート・ワーファリンなどについて」  
講師：岩見沢(北海道中央)労災病院  
平野 正康 歯科口腔外科部長  
堀川 雅昭 第二歯科口腔外科部長  
笠原 和恵 第三歯科口腔外科部長

日々の診療において遭遇する頻度の高いピスホスホネート(以下 BP)系薬剤、及び抗血栓薬服用患者に対する診療上の注意点、及び他科との病診連携についての講演があった。

まず笠原先生よりBP系関連顎骨壊死(BRONJ)の発生機序、臨床症状や、投与患者にBRONJをおこさせないための注意点(経口、注射用薬剤のリスクの違い、各世代 BP系薬剤の望ましい休薬期間、抜歯等の小手術時の注意点など)について、ガイドラインの各ステージごとにわかりやすい説明があった。

堀川先生より、抗血栓薬(経口抗凝固薬、抗血小板薬)を服用している患者の検査値(ワーファリ

ンでPT-INR3未満であれば休薬せずに抜歯可など)の評価法、それぞれのコントロール状態での小手術時の注意点、止血テクニックなど、また両先生よりそれぞれの薬剤を服用している患者の中央労災病院歯科口腔科における小手術時の現状について報告があった。

総括で平野先生から、休薬することにはデメリットがあり、術前にしっかり問診をとり、合わせて他科と緊密な連携を取ることで患者の薬剤の既往、服用などの正確な情報を得て処置を行うことが重要で、その上で対応に苦慮するような症例は労災病院歯科口腔外科に送ってくださるとの説明があり、病診連携の重要性について再確認することができた。

講演後は講師の先生を囲んで懇親会が行われ、時間の限り熱心なディスカッションが続いた。

(滑川貴彦記)



## 櫻田前事務長ご逝去

美唄歯科医師会前事務長櫻田昭美氏、9月7日享年85歳をもってすい臓がんにてご逝去されました。

美唄歯科医師会長老たる櫻田巳年二先生のご次男としての関わりから、昭和26年から平成15年3月までの長きにわたり、当会事務を一手に引き受け貢献されました。

全くその無私の高く評価されると共に、年長の世代と若い世代をつなぐかけがえのない懸け橋でありました。

謹んでご冥福をお祈り致します。

(小森英世記)